

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年2月17日(2025.2.17)

【公開番号】特開2023-92908(P2023-92908A)

【公開日】令和5年7月4日(2023.7.4)

【年通号数】公開公報(特許)2023-124

【出願番号】特願2021-208211(P2021-208211)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月6日(2025.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって

表示手段と、

音出力手段と、

演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

可変表示に対応した特定表示を前記表示手段に表示可能であり、

前記特定表示の表示態様によって、前記有利状態に制御されるか否かを示唆する特定演出を実行可能であり、

前記特定表示として、第1態様の前記特定表示と、前記第1態様よりも前記有利状態に制御される割合が高い第2態様の前記特定表示と、があり、

前記特定演出として、第1特定演出と、前記第1特定演出よりも前記第2態様の前記特定表示が表示される割合が高い第2特定演出と、があり、

前記演出制御手段は、

前記第1特定演出が実行される場合、該第1特定演出が実行される前に、特殊加工されたセリフ音と、効果音とで構成される特殊演出音を前記音出力手段から出力させず、

前記第2特定演出が実行される場合、該第2特定演出が実行される前に、前記特殊演出音を前記音出力手段から出力可能であり、

前記第2特定演出が実行されることを示唆する有利態様と前記第2特定演出が実行されないことを示唆する不利態様とを含む示唆演出を実行可能であり、

前記有利態様の前記示唆演出が実行される場合、前記特殊演出音を前記音出力手段から出力可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

40

50

## 【補正の内容】

## 【0002】

従来より、保留変化演出を備えた遊技機があった。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0003

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0003】

## 【特許文献1】特開2019-208919号公報

10

## 【手続補正4】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0004

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0004】

特許文献1に記載されたような演出が実行される遊技機に関しては、改良の余地があつた。

## 【手続補正5】

## 【補正対象書類名】明細書

20

## 【補正対象項目名】0005

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、興趣を向上させることを目的とする。

## 【手続補正6】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0006

30

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0006】

本手段の遊技機は、

可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて

表示手段と、

音出力手段と、

演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

可変表示に対応した特定表示を前記表示手段に表示可能であり、

前記特定表示の表示態様によって、前記有利状態に制御されるか否かを示唆する特定演出を実行可能であり、

前記特定表示として、第1態様の前記特定表示と、前記第1態様よりも前記有利状態に制御される割合が高い第2態様の前記特定表示と、があり、

前記特定演出として、第1特定演出と、前記第1特定演出よりも前記第2態様の前記特定表示が表示される割合が高い第2特定演出と、があり、

前記演出制御手段は、

前記第1特定演出が実行される場合、該第1特定演出が実行される前に、特殊加工されたセリフ音と、効果音とで構成される特殊演出音を前記音出力手段から出力させず、

前記第2特定演出が実行される場合、該第2特定演出が実行される前に、前記特殊演出音

50

を前記音出力手段から出力可能であり、

前記第2特定演出が実行されることを示唆する有利態様と前記第2特定演出が実行されないことを示唆する不利態様とを含む示唆演出を実行可能であり、

前記有利態様の前記示唆演出が実行される場合、前記特殊演出音を前記音出力手段から出力可能である、

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような構成によれば、興趣を向上できる。

10

20

30

40

50